

■がけくずれ測量設計委託費

428万円

横浜地区の裏山斜面崩壊に
対応するための測量、及び地
質調査。

Q 藤本 岩義議員

横浜地区の上側の亀裂は以
前から指摘をしていたが、そ
の部分が開いたのか。

A 松田 副町長



以前から表面崩
壊的な亀裂があ
り、業者がその
水の飽和状態等を調べる機械
を据えていた経過があるが、
その場所かの確認は出来てい
ない。しかし、実際に表層崩
壊もあり、県の治山担当にも
来て頂き、治山での対応を協
議中で、そのための地質調査
と測量の委託費。

■道路橋梁修繕料

500万円

町道の崩壊34件、路面流出
4件、水路関係16件、河川の
護岸決壊1件への対応。

■林道工事請負費

390万円

上川口線、小川線の道路崩
壊などの復旧。



大量の土石が（上川口線）

■林道維持補修費

150万円

黒の瀬線、馬地線など7路
線22カ所の崩土撤去、及び倒
木の除去など。

■町道維持管理工事費

75万円

大和田地区の堆積土の除
去。

倒木と土石が（上川口線）



橋の崩落（小川線）

●防災拠点施設1号調整池整
備工事の請負契約の第2回交
更契約の締結

現場施工を行った結果、第
1回変更時にボーリング調査
の岩盤線を基に地盤改良計画
としていたが、主に両側山裾
の岩盤線が計画より高い位置
にあつたために地盤改良の数
値が減となり、1219万円
の減額となったもの。

○請負金額

変更前 1億2184万円

変更後 1億964万円

可決（全員）

Q 森 治史議員

この減額は、何回も工事の
増額は出来ないのでは、若干、
予算の上積みしていたのか。

A 金子 まちづくり課長



6月議会で第1
回の変更をした
時、調整池関係の
ボーリング調査2カ所の推定
岩盤線に対し、約50cmほど深
い位置で地盤改良の位置を定
め、各数量を出していた。工
事の結果、岩盤点が高く数量
減となった。



山側の防災広場より完成した1号調整池（矢印）を望む
池の右上が庁舎建設場所。奥側には入野松原が